

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	15220	電話	758-3151
担当部課名	生涯学習部	スポーツ	課	総合水泳場
事務事業名	総合水泳場 施設維持管理			

1 総合計画における位置づけ

政策名	▼第5章	いきいきとした生涯学習社会を作ります	事業開始年度
基本施策名	第2節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	9 ▼年度
施策名	第2施策	スポーツ・レクリエーション施設の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

総合水泳場条例、神奈川県水浴場等に関する条例

3 事務の区分

自治事務	▼
------	---

4 経費の区分

その他の経費	▼
--------	---

5 事務事業の分類

市単独事業	▼
-------	---

6 受益者負担

あり	▼
----	---

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
利用料金制度導入に伴い、管理受託先である(財)相模原市体育協会による効率的な運営による光熱水費の経費削減を目的とし、また、その施策による環境に配慮した省エネルギー効果を期待する。		施設の維持、管理 利用拡大	
		対象数	326,429人(利用者数)
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
総事業費	382,165,365	入場者数	326,429人
人件費	37,844,140		
管理費	1,924,853		
事業費	340,483,152		
(うち電気、ガス使用料)	71,646,859		
消費税	1,913,220		
利用料金収入	82,416,000(予算:83,000千円)		
市支出額	299,165,365		
(4)個別計画の概要		概要	
計画名	なし		
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
活動指標	電気、ガスの使用料金の削減値	本年度電気・ガスの使用料÷前年度電気・ガスの使用料*100 H12:94,074,947 H13:86,280,760 H14:71,646,859(見込)	電気、ガスの使用量を二酸化炭素排出量に換算し、環境配慮への取組みを見る。	100	92	83	95	95
				100	88	93	95	95

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位:千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	375,442	391,273	299,165	297,646	297,646
人員・時間数	13	13	11	11	11
人件費	66,060	67,214	63,014	65,798	65,798
その他経費	0	0	0	0	0
合計	441,502	458,487	362,179	363,444	363,444
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	351,765	327,488	326,429	330,000	335,000
対象の単位あたり経費	1.3	1.4	1.1	1.1	1.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	利用料金制度導入を契機に光熱水費の大幅削減を目標に契約体系の見直し、館内節電等に努めた成果。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	市民個々の生活の中に生涯学習としてのスポーツを根付かせるため、場の提供は必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	市民の利用の定着化、施設の有効利用を図り、利用者拡大を目指す。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	他市の同規模類似施設と比較すると運営コストに優れている部分がある。利用料金制度導入を契機に更なる削減に努める。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市内の屋内プール料金は均一であり、これを他市同規模施設と比較すると廉価で提供できているといえる。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明: 光熱水費の他にも削減に努める余地がある。利用料金制度導入を契機にした職員のコスト意識の改革にも取り組んでおり、今後の施策に期待できる。	手段	経費削減に対する取り組みは光熱水費に限らず実施している。消耗品(プール薬剤)の削減やプッシュ式シャワーの導入などで、経費全体での削減に取り組んでいる。なお、下記削減額は当初予算比である。
<input type="checkbox"/> ない		削減額	9,026 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
	他市の同規模施設という点に限られ、比較が困難なのが現状であるが、単純に施設の維持管理費という点に着目するとコストの削減ができているといえる。特に光熱水費については、昨今の施策の成果がでてきているといえる。また、施設配置人数も他市と比べると少人数で運営しており、人件費についても同様のことが言える。	
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	平成15年度は利用料金制度の2年目にあたり、1年を過ぎてさらなる効果をうみだすための施策を模索している段階であり、今後のさらなる成果を期待できる。市委託料は3年間据え置きのため、事業計画を3年をスパンに考えている。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント